

2022/5/25

(うと Q 世話し ある変化の兆し) 書庫版



昨日、都内迄メガネを作り直す為に検眼に行って参りました。

都内に行くのは2年振り。

というのもワクチン接種をすると自前の抗体が強過る為更に強い抗体であるワクチン注入はウィルス攻撃以上に自傷作用となって跳ね返りアナフィラキシーショックを起こす可能性が高いのでワクチン接種が出来ないと二つある呼吸器系基礎疾患のせいで罹患すれば半日と命が持たず、回避の為長時間公共交通乗車を強いる都内行きを止めていたそれが今回危険を冒して迄都内に赴くのは会社業務や執筆作業がほぼできなくなっていたからです。

その原因とは白内障手術後新たな視力用に誂えた中近用の眼鏡の「近」の部分の視界範囲が極めて狭い為に少しの目線移動で焦点が外れ、書く行数が変わる度に焦点を合わせ直さなくてはならない事態の頻繁なる発生で作業性の悪さからくる疲労やイライラが限界に達して掛けていたのです。

処が危険を冒して迄検眼の為、店へ赴くと地元眼科内に出張検眼に来ていた担当者の情報がうまく店に伝わっておらず依頼内容を再度説明する事態となりいい加減腹が立ってきたのに加え、

「わらわは初耳じゃ。知らせなんだお主が悪かろう」みた様な女王様態度を女性店長がとるのでとうとう例の「雷爆弾」を炸裂させてしまいました。

「ザけんな。こちとら戦時下ウクライナに再帰国する在外国民の心境で此処迄来とるんじや」

処が今迄でしたら響盛を買うだけだったこの振る舞いに対し、あにはからんや昨日は反応の趣がまるで異なっておりました。

一言で申し上げますと相手に「聞き耳がたった」のです。

その後状況は一変。

周りのスタッフをも巻込んで冗談を交えた話で会話が弾み、店を出たのは2時間程後でした。

処がその後お店から携帯に電話があり

「話が弾み過ぎて確認データを取り忘れてしまいました。この儘ではレンズ発注が出来ず納期が遅れてしまいますので申し訳ありませんが今一度お戻り願えないでしょうか？」と。

「ええ、なんやの、それえ？」

と一旦スネたもののやむなく再度お店に赴き再検眼を致しました。

長い経緯説明で恐縮でしたが、ここからが本題です。

以上の経緯から感じたのは

「コロナ禍や某国が某国に無法な侵攻をして残虐行為を働き、某国が我が国に侵攻してくる可能性も取沙汰され、隣国からミサイルが撃込まれる事態も想定される状況を矢継ぎ早に経験した我が国国民の中にある種の変化が生じ始めているのではないか？

内心を見抜かれる事を只管恐れて今迄当たり障りのない話で過ごしてきた事にいい加減ウンザリし、例え多少いざこざが生じてももっと咬み合う濃密な関係を求めて、相手に生の感情表現を期待し、自らも直截な感情を「声あげしたい」衝動に駆られ始めている。

何故ならそうして繋がらないと今後様々な局面で「助からない」

と「人間」より深層の「生物本能」が発するシグナルからそう感じ始めているのではなからうかと。